



マル自——公安警察内の自衛隊監視班
2019/6
制作 神家正成



宝島社文庫：413P
800円＋税
2019/3/27 発売
ISBN：
978-4-8002-9348-0

前作と前々作も好評発売中！
同一世界観の緩いシリーズです。
どれから読んでも楽しめます！
『赤い白球』もつながっています。



神家正成 公式ウェブサイト <https://kamiya-masanari.com/>
右のQRコードを読み取ってください。

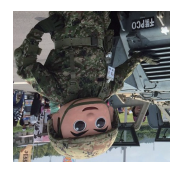
各作品の読後に楽しめるおまけ掌編をご提供しております。
日々雑記（ブログ）や「#記念日にショートショートを」、
自衛隊用語辞典、韓国辞典など随時更新中。TwitterやFacebook、
noteにて最新情報を発信中。お気軽にフォローしてください。



飯島は、ある事件で組織からはみ出し、何とか組織にしがみつきこうこそもかく女性警察官。
小田は、順風満帆だった普通科から左遷され、組織の中で死んだように生きていた男性自衛官。
組織の中に居場所のない二人が、柏の街で交わる時、柏が戦場になる！

謎の自衛官から協力も請われ、元Rスナイパーの小田は、事件に巻き込まれる！

友は、「……すまない」とだけ呟いて電話は、唐突に切られた。
そこに普通科時代の親友でありパイプであった男から電話が来る。
マスケットキョウクワの中の人という仕事を嫌々ながら行っていた。
同じ頃、柏駅のそばにある自衛隊千葉地方協力本部に所属する小田信治 3等陸曹は、
特別捜査本部の設置された柏警察署の副署長は、自衛隊からの出向者、植木礼三郎警視 (3等陸佐)。
植木の部下の飯島義恵 巡査部長は、周囲の冷たい視線の中、植木と共に事件解決に向けて奮闘する。
相次いで事件が起こり、自衛隊から捜査協力者として派遣された自衛官は、
非協力的で敵対的。被害予告期限が迫る中、二人は犯人にたどり着けるのか！



千葉県警察の公安部門の最高責任者である警備部長が誘拐された！
犯人は「桜の戦士」を名乗り、全国のマル自捜査官全リストの公開を要求！
期限は65時間後の0815！前代未聞の要求に柏警察署は大混乱に陥る！

警察 VS. 自衛隊

桜と日章

警察小説の新機軸！



